

令和4年度(第18回) 春の全国中学生ハンドボール選手権大会

女子 準決勝

令和5年3月29日(水)

於:氷見市ふれあいスポーツセンター

A 東久留米西(東京)

対

B 望海(兵庫)

30	18	前半	11	20
	12	後半	9	

ここまで順調に勝ち上がってきた東久留米西と準々決勝で地元氷見北部を接戦で下した望海との試合は、東久留米西のスローオフで始まった。

先制は前半1分東久留米西13番山田がサイドシュートを決めた。望海は3分に9番瀧川が今試合初得点をあげる。前半序盤は、東久留米西は早い展開で得点を重ねる。望海は東久留米西の高いディフェンスに苦戦し、得点が伸びない。東久留米西は相手のマークに苦戦しながらも得点を重ね、点差を広げる。望海は18分に5番河本が退場となるが、相手の速い攻撃に対応し、なんとかしのぎきった。前半の最後は東久留米西の2番普久原がミドルシュートを決め、18-11で折り返した。

望海のスローオフで始まった後半は、東久留米西3番茂木が得点すると、堅いディフェンスから速攻で得点を重ねる。対する望海は速いパス回しでディフェンスのすきをつき得点を重ねると7分には3連続得点で追いつがる。一進一退の攻防の中、10分には東久留米西が連続得点を重ね10点差に引き離す。望海は6番國野のミドルシュートで得点すると、東久留米西は2番普久原のカットインで取り返す。18分には望海のファールで東久留米西が7mスローを獲得するがシュートがキーパーの顔面にあたり3番茂木が退場。望海は一人多い状況でシュートを重ねるが枠をとらえられず点差は縮まらない。

終始リードを続けた東久留米西が30-20で決勝戦へ駒を進めることとなった。

記入者氏名

林 伸恭